

喀痰吸引等研修

(不特定多数の者を対象とする研修[第1号研修及び第2号研修])

実地研修評価票：喀痰吸引 口腔内吸引

(人工呼吸器装着者：非侵襲的人工呼吸療法)

一般社団法人財形福祉協会

達成度	ア 1人で実施し、手順どおりに実施できている
	イ 1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導を受けた
	ウ 1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違えており、その場で指導を受けた
	エ 1人での実施を任せられない
	－ 該当なし

受講者名	
本票ページ数	／

回数 ※()内に実地研修の実施回数を記入すること。		(1)回目	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
月日 ※実地研修を実施した月日を記入すること。		10/11	／	／	／	／	／
時間 ※実地研修を実施した時刻を記入すること。		13:15					
実施手順	評価項目	評価結果	評価結果				
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア					
	2 手洗いを行う	ア					
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する	ア					
	4 必要物品を利用者のもちに運ぶ	ア					
実施	5 利用者に吸引の説明をする	ア					
	6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える	ア					
	7 口腔内・鼻腔内を観察する	ア					
	8 手袋の着用またはセッシを持つ	ア					
	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
	10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア					
	11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア					
	12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
	13 吸引チューブの先端の水をよく切る	ア					
	14 利用者に吸引開始について声かけを行う	ア					
	15 口鼻マスクまたは鼻マスクをはすず	ア					
	16 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア					
	17 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア					
	18 吸引チューブを静かに抜く	ア					
	19 口鼻マスク・鼻マスクを適切に戻す (注)	ア					
	20 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア					
	21 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア					
	22 (セッシを持っている場合) セッシを戻す	ア					
	23 吸引器の電源を切る	ア					
	24 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す	ア					
	25 手袋をはすず (手袋を使用している場合)	ア					
	26 利用者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア					
	27 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常どおりであることを確認する	ア					
	28 吸引物及び利用者の状態を観察する	イ					
	29 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア					
	30 手洗いをする	ア					
報告	31 吸引物及び利用者の状態を報告する	イ					
	32 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常どおりであることを報告する	ア					
	33 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする (該当する場合のみ)	－					
片付け	34 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる	ア					
	35 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア					
記録	36 ケア実施の証明および今後のケアプランに活用できるように記録しておく	ア					
アの個数 計		33					
指導看護師のサインまたは捺印							

(注)個人差があり、順番が前後することがある。

★★各行為の修了認定基準 ＝ 累積成功率70%以上、かつ最終3回のケアの実施において不成功が1回もない(連続3回成功)こと

自由記載欄

()回目	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	

達成度

ア 1人で実施し、手順どおりに実施できている
イ 1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違っており、実施後に指導を受けた
ウ 1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違っており、その場で指導を受けた
エ 1人での実施を任せられない
－ 該当なし

受講者名

本票ページ数

/

回数 ※()内に実地研修の実施回数を記入すること。		(1)回目	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
月日 ※実地研修を実施した月日を記入すること。		10/11	/	/	/	/	/
時間 ※実地研修を実施した時刻を記入すること。		13:15					
実施手順	評価項目	評価結果	評価結果				
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア					
	2 手洗いをを行う	ア					
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する	ア					
	4 必要物品を利用者のもとに運ぶ	ア					
実施	5 利用者に吸引の説明をする	ア					
	6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える	ア					
	7 口腔内・鼻腔内を観察する	ア					
	8 手袋の着用またはセッシを持つ	ア					
	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
	10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア					
	11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア					
	12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
	13 吸引チューブの先端の水をよく切る	ア					
	14 利用者に吸引開始について声かけを行う	ア					
	15 口鼻マスクまたは鼻マスクをはずす	ア					
	16 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア					
	17 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア					
	18 吸引チューブを静かに抜く	ア					
	19 口鼻マスク・鼻マスクを適切に戻す (注)	ア					
	20 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア					
	21 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア					
	22 (セッシを持っている場合) セッシを戻す	ア					
	23 吸引器の電源を切る	ア					
	24 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す	ア					
	25 手袋をはずす (手袋を使用している場合)	ア					
	26 利用者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア					
	27 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常どおりであることを確認する	ア					
	28 吸引物及び利用者の状態を観察する	イ					
	29 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア					
	30 手洗いをする	ア					
報告	31 吸引物及び利用者の状態を報告する	イ					
	32 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常どおりであることを報告する	ア					
	33 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする (該当する場合のみ)	－					
片付け	34 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる	ア					
	35 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア					
記録	36 ケア実施の証明および今後のケアプランに活用できるように記録しておく	ア					
アの個数 計		33					
指導看護師のサインまたは捺印							

(注)個人差があり、順番が前後することがある。

★★各行為の修了認定基準 = 累積成功率70%以上、かつ最終3回のケアの実施において不成功が1回もない(連続3回成功)こと

自由記載欄

()回目

()回目

()回目

()回目

()回目